



2018・2・11

第 296 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 3000万の目標達成へ各地で全戸訪問広がる

### 自民、党大会に向け9条改憲案

自民党憲法改正推進本部は2月7日に全体会合を開き、自衛隊にかんする規定を追加する9条改憲について、2項を残したままにする案と、2項を削除する案について、条文化の作業をすすめることを確認しました。執行部は3月25日の党大会までに改憲項目の「たたき台」を公表したい考えです。

なお安倍首相は6日の予算委員会の答弁で、9条改憲案には自衛隊の明記に加え「自衛権自体をそこに書き込んでいく、われわれが解釈変更（集団的自衛権容認）したところについても書き込んでいくという考え方はある」と述べています。

### 目標達成へ各地で交流会

#### 署名とチラシ全戸配布し訪問3回

【静岡県沼津市／3000万署名沼津の会】沼津市の「9条改憲NO！3000万署名沼津の会」は、目標の5万人分をやりきろうと駅周辺でのスタンディング、地域ごとの訪問、宣伝カーの走行などに奮闘しています。

同会は、昨年11月末に市内の地域九条の

会、各種団体、目的に賛同する有志が集まって結成した会です。

愛鷹（あしたか）地域では、署名とビラをセットにして各戸に配布、後日、訪問・回収する行動を3回行っています。約150軒配布すると約40軒が協力してくれます。玄関先の下駄箱の上に署名用紙がていねいに置かれていたことや、「おれが署名したって変わらないよ」と言いつつ「戦争は絶対ダメだ」と83歳の男性が協力することもありました。原地域では、軒並み訪問し420人分集めた人も出ています。

市内のある自治会長は「俺は、9条は変えてはいけないと思う」と署名用紙を10枚持っていき、友人や会合の場所で集めてくれています。協力者の広がりもあり「老人会の集まりで頼まれて書いたよ」「この前、他の人のところで書いたばかり」との声が聞かれるようになってきています。

1月30日にはショッピングセンター前で、駅北地域の8人がプラカードや横断幕でアピールして署名を呼びかけました。

自転車をとめて署名した65歳の女性は「母親の兄弟は戦争で亡くなりました。多くの若者が戦争でなくなった。餓死という

悲惨な死に方をした人もいる。母親からも、戦争時代はひどい生活だったと話を聞いて育ちました。せっかく平和な日本なのだから守らなくてはいけない」と話しました。

80歳の男性は「わずかでも戦争を体験した。戦争なんてとんでもない」。52歳の男性も「今まで平和だったのだから、これまでと同じ国でいてほしい」と署名しました。

マイクを握る山崎勝子前市議らの声が響きます。「憲法9条があったから日本は戦後、戦争をすることはありませんでした。9条は世界の宝です。戦争は嫌だと思っみなさん、安倍政権の改憲を阻止するため、署名にご協力ください」

### 小学校区単位でローラー作戦も

【高知県／こうち九条の会】 こうち九条の会は4日、高知市で安倍改憲に反対する3000万署名の推進に向けた緊急の全県交流集会を開き、約50人が参加しました。

谷脇和仁事務局長が基調報告し、安倍首相が提案している憲法への自衛隊の明記について、9条2項を空文化する問題点などを指摘、3000万署名を集めて改憲の発議をさせないことを訴えました。

「3000万人署名こうち総行動」が先月、結成されました。高知憲法アクション呼びかけ人の山崎秀一氏がその経過などを説明。学習会を旺盛に開き、署名の担い手を増やして県内で20万人分集めることを呼びかけました。

交流では「広範な市民団体と野党が結集して市民アクションを立ち上げた。小学校区単位でローラー作戦に取り組む」（南国九条の会）、「2015年に3人で結成した会が今

148人になっている。会員から次々と署名が届いている」（短歌九条の会）、「署名用紙とニュースを地域に配布している。憲法カフェにも取り組んだ。今、500人の目標に対して253人分集まっている」（針木九条の会）、「自宅の周辺50軒に署名用紙を配布したところ45軒が署名して返してくれた。全体の取り組みへと広げていきたい」（いの九条の会）などの発言がありました。

### 用紙持ち歩き100人の署名1人で

【京都府／市民アクション京都】 3000万人署名の取り組みを交流し、京都で60万人の署名目標を達成しようと、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション・京都」が3日夜、京都市下京区のキャンパスプラザ京都で交流集会を開き150人が参加しました。

講演した全国市民アクション運営委員の高田健氏は、現行改憲手続法による不平等な国民投票の実施を許さないためにも改憲発議を阻止する意義を強調。「署名で一人ひとりと対話することが極めて重要だ。運動を広げ、団体の垣根もこえて阻止していきたい」と強調しました。

各地域・団体がリリーススピーチ。「安倍9条改憲を考える市民の会・伏見」の村上敏明さんは、1月に同会を結成し多彩な人が参加したこと、桃山南学区で署名用紙を3600軒に全戸配布し、毎日返信が寄せられている活動などを話しました。

つねにカバンに署名用紙を入れている東山区の女性は、親戚や近所の人に次つぎに声をかけ、「自民党やで」という人にも「戦争になったらいややし」と協力してもらうなど、100人分の署名を集めていることを紹

介しました。

「市民アクション・京都」の梶川憲氏は、京都で約7万人の署名が集まっていることにふれ、「スピードをあげ、署名をよびかける側の人たちを増やしたい。分野ごとの交流や、憲法を語り学びあう運動をすすめたい」と語りました。

### 署名推進者 300 人めざす

**【長野県長和町／長和9条の会】** 長和町では1月27日、「町民アクション結成・3000万署名スタート集会」が行われました。

集会に向けて長和9条の会が「呼びかけ人」を募ると、元町長、議員、元議員など、初めての人も含め、多彩な43人が名を連ねました。呼びかけ人の氏名を記載したチラシを町内で約1000枚配布し、集会への参加を呼びかけました。

集会で山田昭二さん（長和町9条の会）が「幅広いみなさんと3000万署名を町民に広げたい」とあいさつ。山口光昭さん（信州市民アクション共同代表）が講演し、世論を大きくするため3000万署名が決定的に大事であると強調しました。

意見交流では4人が発言。「安倍政権での改憲はあまりにも危険だと思う。安倍政権の本質を訴えて署名に取り組みたい」「原発問題と併せて憲法改悪反対署名に取り組みたい」などの意見が出され、本気で幅広い層の人たちに声をかけ、「安倍改憲阻止」で一致し、取り組んでいくことを決めました。

今後は、運動の賛同者を300人募って、署名運動を呼び掛けるチラシを町内全戸に配布、3000万に相当する2000人の署名目標を決めました。

### 欠かせない対話のための学習

**【岡山県地域人権問題集会】** 岡山市で3日に開かれた岡山県地域人権問題研究集会の分科会で、3つの地域9条の会の代表が3000万人署名の経験を報告しました。

御津9条の会の板津定邦さんは旧御津町の58地区18地区のボランティア団体や小中学校教職員組合などを訪れ、署名を集めてもらうよう依頼した経験を報告しました。3000人の目標に対して1月26日現在、1118人分の署名が集まっています。残りの地区を訪問して目標達成を目指します。

戸別訪問ではすぐ署名してくれる人もいますが、多くは20分、30分対話してからもらっています。「難しくわからない」と言う人が多いが、丁寧に説明すれば署名してくれると言います。

三勲・旭東9条の会の緋田美代子さんも対話に努めています。北朝鮮問題で署名を保留する人もいます。「改憲って何？」という人にも説明できるよう、憲法共同センターのDVD「9条改憲って何？」を見て学習。「ようわかった」「こんなことになるとんじゃ」と話し、対話の参考にしてしていると紹介しました。

吉備中央町9条の会三村司さんは楽しく行動するため、みんなで集まって対話に出ると語られました。

### 地域の会がそれぞれの目標もって

**【群馬県前橋市／9条の会前橋連絡会】** 9条の会前橋連絡会は1月27日、3000万署名「推進交流会」を開きました。交流会には市内12の9条の会などから21人が参

加しました。

各地の9条の会が活動報告。「3月末までに5000人分の署名をめざそうと70人の会員に訴えを出した」（5中地区9条の会）、「会員にニュースと署名用紙、返信用封筒を入れ郵送した」（群馬計理9条の会）、「目標を前回6割増しの800人に設定した」（かいがや9条の会）、「自宅周辺から戸別訪問している。『来てくれてありがとう』の声も寄せられる」（4中9条の会）、「『署名の訴え』チラシを作成し、留守宅にはポストに入れている」（南橋9条の会）一などの発言がありました。

交流会では、憲法共同センター制作のDVD「知ってました？9条改憲って何」を視聴し、安倍改憲の狙いと3000万署名の意義を学習。参加者から、「DVDは自宅で見られるので小集会ができる」などの発言がありました。

質疑・自由討論では、「閣議決定で集団的自衛権行使容認を強行する安倍政権に危機感を持ち、私も何か行動をしなくてはと感じた」などの発言がありました。

## 念仏者としての生き方問われる

**【念仏者九条の会】** 念仏者九条の会は1月31日、山口市で「『憲法九条壊憲阻止』のため」をテーマに第25回全国集会を開き、僧侶や門徒ら約60人が参加しました。

藤本信隆共同代表は「危機的状況の9条はもちろん、憲法全体の課題として人権や命を守ることを考えていかなければならない時だ。念仏者として生き方が問い直されている」とあいさつしました。

一橋大学名誉教授で「九条の会」事務局

員の渡辺治氏が講演し「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」に九条の会が組織として初参加するなど、かつてない広がりをもつ市民と野党の共同が、改憲発議を阻む大きな壁になっていると強調。3000万署名を広げる原動力は地域の共同にあると述べ「改憲をめぐる正念場である今年こそ、九条の会の出番だ。『念仏者九条の会』でなければできないような運動を進めてほしい」と力を込めました。

会は今後、改憲発議の阻止へ署名推進をはじめ、地域の市民運動、改憲に反対する政党、他教団などとの共同をさらに広げ、9条改悪反対の声を大きく上げていくことを確認しました。

## 保守層も対象に署名推進

**【東京都江東区／江東市民連合】** 東京の「市民と政治をつなぐ江東市民連合は1月27日、「9条改憲で日本はどうなる？学習討論集会 in 江東」一を開催しました。

集会では、①江東市民連合が作成した「9条改憲NO！署名ポスター」を張り出す②安倍9条改憲NO！3000万人署名を保守層も含め広げる③学習や対話、「憲法カフェ」や井戸端会議などで協力者を広げていく一の行動を行っていくことを確認しました。

右崎正博・獨協大学名誉教授（江東市民連合共同代表）が講演し、9条に自衛隊を書き込み合憲化する案について、災害派遣の自衛隊と武器を持った防衛出動とを分けて考えなければならないと指摘。安倍首相はすでに解釈で日本が集団的自衛権を行使できるとしており、後から9条に付け加えられた法文が優先する原則から、1、2項

は死文化し、海外で軍事行動ができるようになることは明らか、と述べました、

討論では、南砂団地9条の会、深川9条の会、戦争法廃止をめざす大島の会、砂町の会などが、ポスター張り出しや署名を広げている経験を報告。参加者から、「北朝鮮問題でも、軍事力によらない対話による解決しかない」との意見も出されました。

## 被災者守った自衛隊を戦場に送らない

### 【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】

県九条の会連絡会は1月30日、「3000万署名」を集め切り、何としても安倍9条改憲を阻止しようと仙台市の繁華街で街頭宣伝を繰り広げ、107人が署名しました。

寒風のなか、参加者が「戦争する国にしない、これからもずっと」と書いたビラを市民に配りました。「安倍9条改憲に反対する署名です」と呼びかけると、通りすぎようとした女性2人が振り向き「がんばってください」とそろってペンを握りました。

大学4年生の男性(23)は「憲法を守る義務がある首相が改憲を呼びかけることは納得できない」と署名しました。

参加者が次つぎマイクを握って安倍9条改憲を批判。「東日本大震災で被災者の暮らしを守ってくれた自衛隊を戦場に送ってはならない」と訴えました。

みやぎ憲法九条の会の池上武さん(76)は「これまでにない数の署名目標だが改憲の危機感はみんな持っている。全県に署名を広げたい」と語ります。

## 澤地さんのよびかけから2年余

### 【青森県／憲法9条つがる女性の会】 憲

法9条つがる女性の会は3日、弘前市のりんご広場前で「アベ政治は許さない」ポスターを掲げスタンディング行動をしました。

同会は、作家・九条の会呼びかけ人の澤地久枝さんの、「毎月3日に『アベ政治を許さない』の同じポスターを全国でいっせいに掲げよう」との提案に賛同し、2015年11月から毎月3日の行動を続けています。

この日、冷たい風が吹き、時おりバラバラと雨が降るなか、女性6人が参加。弘前駅から流れる通行人の視線をあびながら、「アベ政治を許さない！」ポスターをいっせいに掲げました。

街頭から「んだ。安倍まいね((ダメ)」と声をあげる高校生グループと笑顔をかわし、「賛成、賛成」と声を寄せる青年たちから元気を補充しながら、「9条を守ろう」と30分間アピールしました。

## 手伝えることがあれば、と女子大生

### 【岐阜県／岐阜・九条の会】

岐阜・九条の会は1月29日、名鉄岐阜駅前で190回目の「9のつく日」行動を7人で行い、冷たい風か身にしみる中、安倍9条改憲阻止の3000万署名を呼びかけました。

事務局の吉田隆さん(69)らがマイクを握り、「憲法への自衛隊明記は、無制限に戦争できる体制を憲法に書き込むものです。改憲発議をさせないためにも署名にご協力ください」と訴えました。

代表の吉田千秋さん(元岐阜大学教授)を先頭に首から「安倍9条改憲NO」「戦争反対」のブラカードをぶらさげ、信号待ちの通行人に「寒いですね」と署名つきのビラを配りながら対話しました。

中1女子の2人組みは「この前署名しました。がんばってください」と笑顔で話しました。女子大生(20)は「戦争で無理やり殺された人がいることを聞いて、戦争には絶対になってほしくない。何か手伝えることがあればやりたい」と語りました。

外国人の若い女性にも英語で対話すると「オッケー」と大きな声で署名に応じたり、信号が変わっても対話でもりあがり、納得して署名する姿が見られました。

### あらゆる連携・共同の追及を

【秋田県／秋田九条の会】 秋田九条の会は1月27日、秋田市で「3000万署名」の成功をめざし13周年記念講演会を開きました。市民ら約140人が参加しました。

五十嵐仁法政大学名誉教授が「憲法九条を生かす道を考える」と題して講演しました。「安倍首相の九条改憲は『戦争できる国』への総仕上げ。国民ないがしろの『改憲』であり、断固阻止しなければならない」と批判。「戦後、平和憲法の下で皆さん一人ひとりがつくってきた自由で民主的な平和国家を守り、次世代に手渡す責任がある。あらゆる共同・連携を追及し、インスタ映えする行動など創意工夫をして3000万署名を成功させよう」と訴えました。

土崎、能代まちなか、あきた女性などの各九条の会や秋田市在住の男性らが署名運動の経験などを報告し、交流しました。

参加者からは「それいいな」「よし、やるぞ」のかけ声も飛び出し、「講演を聞いて元気が出た。シニア世代だけど、頑張ってもうひと花咲かせよう」などと話す女性もいました。

### 市民が主役の政治をめざすして

【東京都足立区／千住九条の会】 千住九条の会は1月28日、中野晃一さんと諏訪原健さんをお迎えしお二人のミニ講演とトークセッションを開催。115名が参加。

中野氏は、安倍政権はデタラメで真面目な改憲論議もやっていないから、こちらあまり正攻法に加憲論を周りの人に話しても聞いてもらえない。憲法は70年以上続いているから変えたほうがいいというのは、外科手術のようなもの。70才以上の人に一度も手術しないのはおかしいと言っているようなもの。運動は違いを乗り越え互いに排除しないでリスペクトしあいながら連帯し広げることが大切、と訴えました。諏訪原さんは憲法は生かしきれていない。シールズはネットで人を集め、個人として何でもここに来ているのかをスピーチした。私は奨学金・返済額1600万になっている。奨学金の問題は個人の問題だと思っていたが政治的な問題だと思うようになった。政治を個人の言葉で話し市民が主役の政治をつくっていかねばと思う。嫌なことばかりだが、少しでも良い社会にしたい、と訴えました。

講演後のトークセッションでも沢山の質問に答えていただきお二人の熱いトークに参加者はパワーを頂き、希望の見える未来となりました。当日、会場で20筆の3000万署名が集まり会員が1名増えました。

今後も引き続き、月2回の駅頭署名行動、月1回の戸別訪問、会員さん一人ひとりの署名集めなどで目標達成に向けて頑張りたいと思います。

(千住九条の会 中田記)